

# 県立特別支援学校誘致に係る説明会

令和5年8月20日

浦安市教育委員会  
千葉県教育庁

## 開会

1 浦安市教育委員会 千葉県教育庁 挨拶

2 県立特別支援学校の誘致について

(浦安市教育委員会教育総務部教育政策課)

(千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課  
特別支援学校整備室)

3 質疑応答

## 閉会

(浦安市より)

- 1 県立特別支援学校誘致に係る市の取組と本市に開校する意義
- 2 本市に必要な特別支援学校の規模について
- 3 誘致可能施設の検証と誘致の方向性、最有力候補施設の決定について
- 4 明海中学校・明海南小学校の教育活動と県立特別支援学校との関わりについて

## <これまでの経緯>

平成20年度（2008年度）～ 現在

千葉県及び千葉県教育委員会に対して、県立特別支援学校の誘致の要望

令和元年度（2019年度）

浦安市特別支援教育のあり方に関する庁内検討委員会

浦安市特別支援教育のあり方検討報告書 作成

令和2年度（2020年度）

県立特別支援学校誘致推進委員会（庁内）

令和3年度（2021年度）

県立特別支援学校誘致推進委員会（外部委員）

# 1 県立特別支援学校誘致に係る 市の取組と本市に開校する意義

本市に居住する児童生徒の主な通学先

現在、他市の特別支援学校に通学する児童生徒は  
100人を超えている

障がい種別	学校名	学校種	在籍者(人)
知的障がい	県立市川特別支援学校	小・中学部 高等部	81
肢体不自由	県立船橋特別支援学校	小学部	6
	県立船橋夏見特別支援学校	中学部 高等部	12
専門学科	県立市川大野高等学園	高等部	13

## 解決したい課題

- 長時間にわたる通学時間が見童生徒本人や保護者の大きな負担となっている。
- 保護者からは「災害の時が不安」という声も聴かれる。  
(学校が自宅から離れているため)
- 地域の中で子どもを育てたいという保護者の願いがある。
- 本来は、より専門性の高い特別支援学校への進学を希望する見童生徒でも、市川や船橋への通学が困難なことから市内の特別支援学級に通っている場合もある。

# 開校する意義－1

- 一人一人に応じたより専門的な教育の場ができ、就学の選択肢が広がる。
- 長時間の通学の不便さが解消される。
- 医療的ケアが必要な子どもをはじめ、様々な障がいのある子どもたちの指導・支援の充実が期待できる。
- 特別支援学校のセンター的機能により、本市教員の特別支援教育への専門性の向上や指導力の向上も期待できる。
- 本市の通常の学級の児童生徒と特別支援学校の児童生徒との交流が活発に行われ、それによりお互いが社会性を養い、豊かな人間性を育むことにつながる。

## 開校する意義－2

- 特別支援学校に通う子どもたちにとっては、地域の様々な人々と関わることが地域社会の中で自立して生きていく力となり、積極的な社会参加につながる。
- 市内の公立学校に通う子どもたちにとっては、多様なあり方を理解し、障がいのあるなしにかかわらず共に支え合う意識の醸成につながる。

その人らしさを認めながら

共に地域で生きる「共生社会」の実現

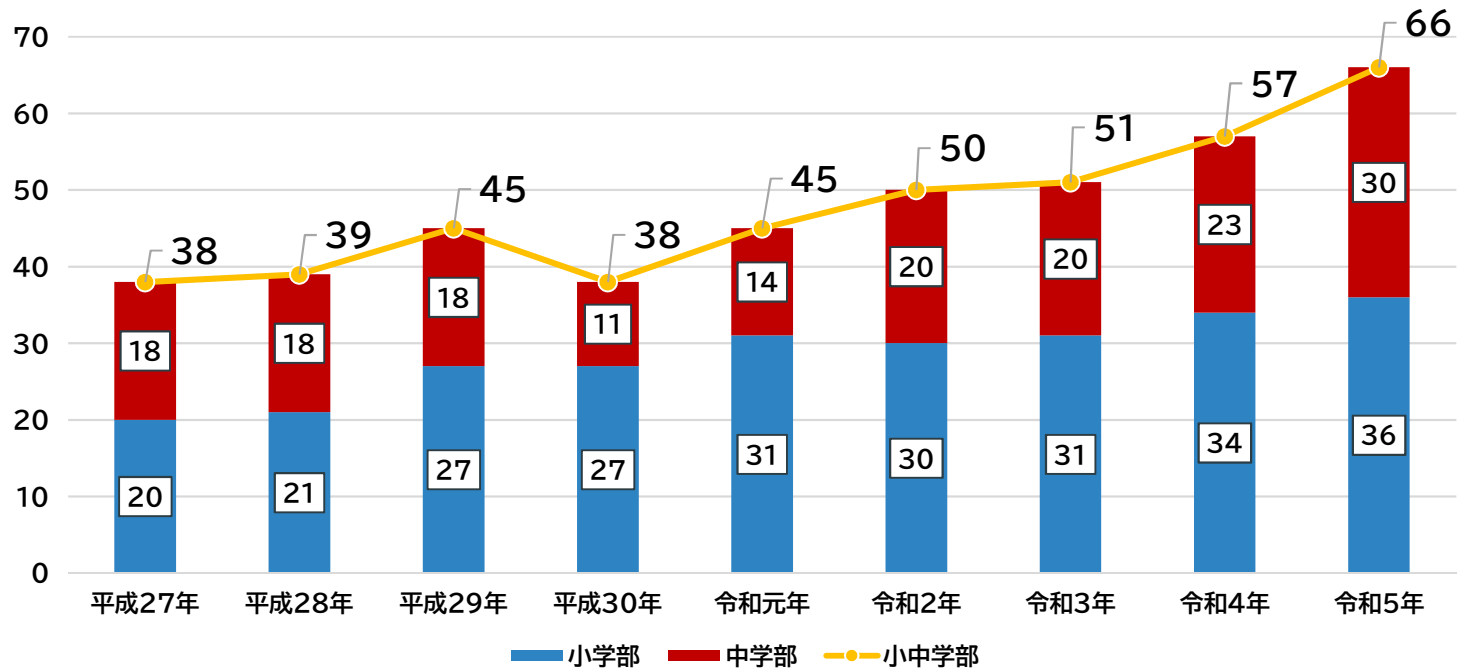


## 2 本市に必要な特別支援学校の規模について

### 小中学部の9年間の推移

【本市から市外の特別支援学校に通う児童生徒数の推移（小中学部）】

浦安市から市外の特別支援学校に通う児童生徒数推移(小中学部)



## 本市に誘致する特別支援学校に必要な教室について

- 令和3年に定められた文科省が定めた「特別支援学校設置基準」では、小中学部の一学級の人数は6人となり、従来の一学級8人より少ない人数で学級を編制することになる。
- 重複障がいや肢体不自由の児童生徒は、一学級の人数が3人のため、より多くの教室が必要となる。
- その他、自立活動室や職員室、保健室等も必要となる。  
特に高等部は様々な作業室を整備する必要がある。
- 既存の学校に併設する場合には、特別教室や体育館、校庭等は共用できる。

### 3 誘致可能施設の検証と誘致の方向性、 最有力候補施設の決定について

◎ 誘致のために検証すべき必要条件についてー1

	検証が必要な項目	検証内容
1	既存の学校の規模	既存の学校に併設する場合、特別教室や体育館・校庭を共用するため、学校規模が大きいと割り振りが難しく教育活動に支障をきたすため、検証する必要があります。
2	校舎の施設規模	浦安市在住で、特別支援学校への通学を希望する児童生徒が通学できる規模の施設を整備するために、必要な学級数分の教室や特別教室等を確保する施設規模かどうか、検証する必要があります。

## ◎ 誘致のために検証すべき必要条件について－2

	検証が必要な項目	検証内容
3	駐車場等	特別支援学校はスクールバスでの送迎を行ったり、放課後デイサービスの車が迎えに来たりするため、バス乗降場所の整備や駐車スペースが必要なため、検証する必要があります。
4	安全面の検証	スクールバス通行に関わる児童生徒の安全の観点で、バス等の動線や道路の状況について、検証する必要があります。
5	施設の拡張性	一般的に特別支援学校開校後に児童生徒数は増加する傾向があるため、施設に余裕があるまたは、増築する余地がある施設かどうかを検証する必要があります。

## ◎ 誘致施設候補選定の基本的な考え方

1 学校統合によって空いた校舎を利用する

(統合型)

2 児童生徒の減少による空き教室を活用する

(併設型)

3 市内小中学校以外の施設の活用

## 1 学校統合によって空いた校舎を利用する（統合型）

- ・「浦安市学校規模適正化基本方針」より、小規模校対策が必要とされる学校であること
- ・統合先の学校が、統合される学校の児童生徒を受け入れられる大きさが必要

美浜北小学校・明海小学校の検討  
両校とも十分な教室数を確保できず

## 2 児童生徒の減少による空き教室を活用する（併設型）

- ・特別支援学校を設置できるだけの空き教室数が必要

明海南小学校・明海中学校（合築校舎）の検討  
教室数を確保できる

### 3 市内小中学校以外の施設の活用

#### ー まちづくり活動プラザ ー (旧入船北小学校)

- ・必要教室数を確保できない。
- ・令和7年度末まで現在の事業者が使用することになっており、その後の活用については未定

#### ー 市内県立高等学校 ー (浦安高校、浦安南高校)

- ・候補施設として検討
- ・県との確認の中で候補とならなかった。

## 誘致候補施設の評価

施設規模

開校スケジュール



# 4 明海中学校・明海南小学校の教育活動と 県立特別支援学校との関わりについて

## 今後のスケジュール（予定）

令和5年度



令和6年度



令和7年度



令和8年度



令和9年度

明海中・明海南小

説明会  
小中連携  
の継続  
工事のため  
の設計



小中連携  
の継続  
一部改修  
工事  
年度末引  
越し



小中学校  
同一校舎での生活開始  
(明海中学校 校舎)

県立特別支援学校

工事のため  
の設計



工事のため  
の設計



明海南小校舎改修工事



開校

**明海中学校・明海南小学校 今後の取組について**

**【小中連携教育の一層の促進】**

**【明海中・明海南小・県立特別支援学校 三者の交流】**

**【地域とともにある学校づくりのさらなる推進】**

## 【小中連携教育の一層の促進】

- ・ 教科担任制 乗り入れ授業
- ・ 一貫校化による教育課程の特例
- ・ 学校行事の共同活動
- ・ 生徒会、児童会の共同化
- ・ クラブ活動、委員会活動の共同化
- ・ 部活動の共同運営

## 明海中学校・明海南小学校 今後の取組について

### 【明海中・明海南小・県立特別支援学校 三者の交流】

- ・ 三者の児童生徒が交流できる活動の創出
- ・ 授業や行事以外でも交流を容易にするルール作り
- ・ 教職員同士の情報共有と共同による研究・研修
- ・ 実態に即して適切な実施につなげる教育課程上の位置付け
- ・ 教職員のみならず、保護者等の関係者が交流や共同学習の意義やねらいについての十分な理解

## 明海中学校・明海南小学校 今後の取組について

### 【地域とともにある学校づくりのさらなる推進】

- ・明海地区の地域力を小中学校の連携による教育活動の推進力とする。
- ・学校と地域が子育ての目標やビジョンを共有し、より一層の学校と地域との連携・協働を推進していく。
- ・特別支援教育に対する理解を、学校だけでなく地域と一体となって理解を深める。

(千葉県より)

## (仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校について

---

- 第3次千葉県特別支援教育推進基本計画  
第3次県立特別支援学校整備計画
- (仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校の設置に至った経緯
- (仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校の概要

## 第3次千葉県特別支援教育推進基本計画

(令和4年3月策定)

一人一人が輝く  
共生社会の形成に向けた  
特別支援教育の推進



障害のある子供の学びと切れ目ない支援体制の充実

特別支援学校の整備と機能の充実

ICTの利活用による教育の質の向上

卒業後の豊かな生活に向けた支援の充実

特別支援教育に関する教員の専門性の向上

## 第3次県立特別支援学校整備計画

- ・現在の過密状況への対応
- ・今後の児童生徒増に伴う過密状況への対応



## 第3次県立特別支援学校整備計画

### 第3次県立特別支援学校整備計画(前期計画)における対応予定

地域	対象校	対応障害種
千葉・葛南	千葉特別支援学校 八千代特別支援学校	知的障害
千葉・葛南	市川特別支援学校 船橋特別支援学校	知的障害 肢体不自由
東葛飾	松戸特別支援学校	肢体不自由
北総	印旛特別支援学校	知的障害
南房総	君津特別支援学校	知的障害

※各学校の在籍者数の増減や学校を取り巻く状況等について引き続き注視し、上記以外の県立特別支援学校においても、その状況に応じて必要な対応を検討する。



# 県立市川特別支援学校の過密状況への対応

## 県立市川特別支援学校の在籍児童生徒数推移

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
234	212	204	224	240	221	231	224	246	237	244	266

### 児童生徒数の増加による教室不足

特別教室を教室に転用等をして対応



廊下に図書コーナー設置  
(図書室を教室に転用)



音楽室を教室に転用



調理室を教室に転用

# 県立船橋特別支援学校及び県立船橋夏見特別支援学校の長時間通学への対応

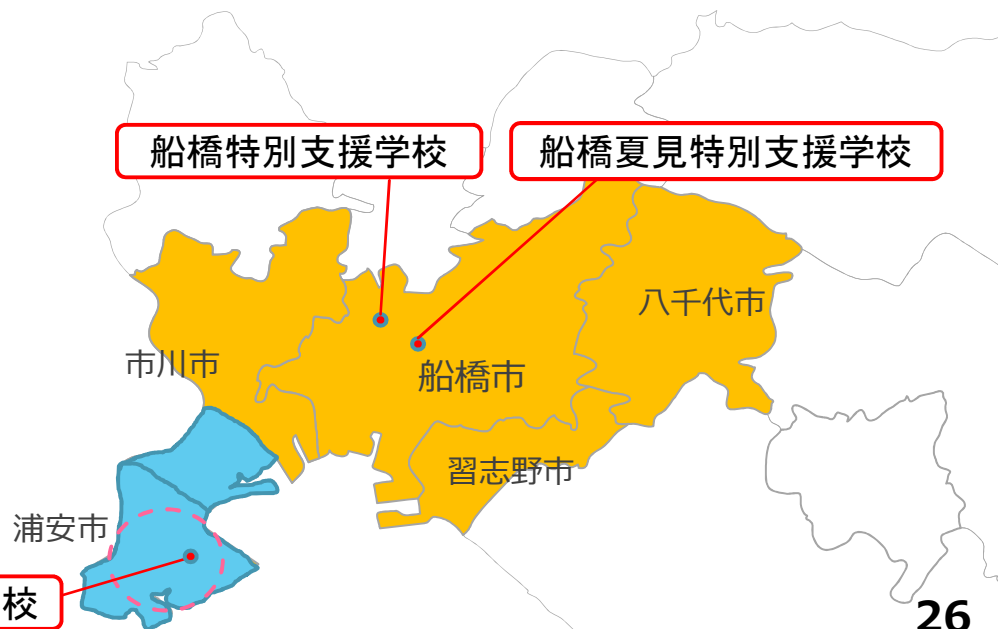
## 在籍児童生徒数推移

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
船橋特別支援学校	62	83	93	95	90	94	106	99	90
船橋夏見特別支援学校	90	83	81	88	92	90	82	95	105

## 船橋特別支援学校・船橋夏見特別支援学校 通学区域

### 浦安市及び市川市南部からの通学

- ・渋滞が慢性的にある地域であり、長時間通学が生じている。
- ・肢体不自由の児童生徒が、スクールバスに、**約1時間30分**乗車して通学している現状がある。



## (仮称) 千葉県立葛南地区特別支援学校の設置に至った経緯

既存校舎の増築

県有施設の活用

市町村立学校の転用可能な  
校地・校舎等の活用

### 【新設校の候補地選定の経緯】

- ・市川特別支援学校、船橋特別支援学校、船橋夏見特別支援学校の敷地内への増築、学区内の**県有施設の活用について検討**。
- ・学区内の市立学校の転用可能な校地・校舎などの活用について、**関係市と協議・検討**。
- ・浦安市から、**浦安市立明海南小学校の活用について提案**。
- ・過密状況への対応及び長時間通学への対応の可能性を検討。
- ・県立特別支援学校を設置するにあたり、施設規模等について検討・協議
- ・浦安市立明海南小学校・明海中学校との併設による**新設特別支援学校の設置を決定**。

第3期千葉県教育振興基本計画  
次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン  
(令和2年3月)

これからの特別支援教育を支える学校施設の  
在り方について (文部科学省)  
(令和4年3月)

### 10年後の「子供の目指す姿」

障害のある子供たちへの理解や支援が  
広がり、障害のある子供たちと障害のない  
子供たちが、地域で共に学び、子供  
たちの笑顔があふれている。

### 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進

障害者等が、積極的に参加・貢献して  
いくことができる全員参加型の社会である  
「共生社会」を目指すためには、全ての  
の学校で特別支援教育を推進し、同じ場  
で共に学ぶことを追求していく

### 障害のある子供と障害のない子供が共に 学ぶ場、多様な学びの場の整備

- ・障害のある幼児児童生徒と障害  
のない幼児児童生徒が共に学ぶこ  
とができるよう、多様な学習活動  
等に柔軟に対応できる空間を確保  
することが重要である。
- ・特別支援学校を小・中・高等学  
校等へ併置・併設する場合には、  
幼児児童生徒が共に学び、教職員  
が連携・協働することにより活力  
を生み出すような環境づくりを行  
うことが重要である。

## (仮称) 千葉県立葛南地区特別支援学校の概要

### 【新設校の概要】

活用施設

浦安市立明海南小学校・浦安市立明海中学校

設置学部

小学部・中学部

対応障害種

知的障害・肢体不自由

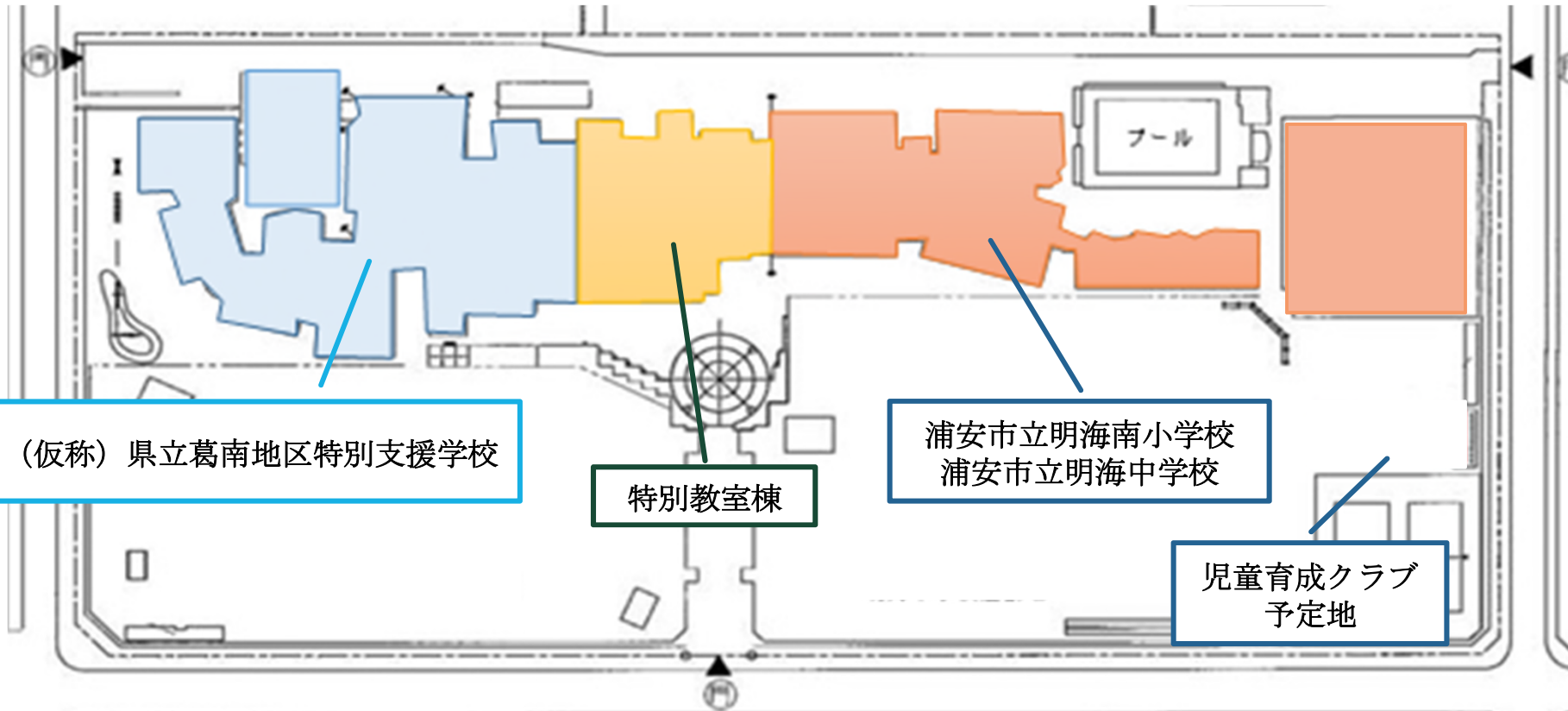
学校規模

児童生徒数100人程度を想定

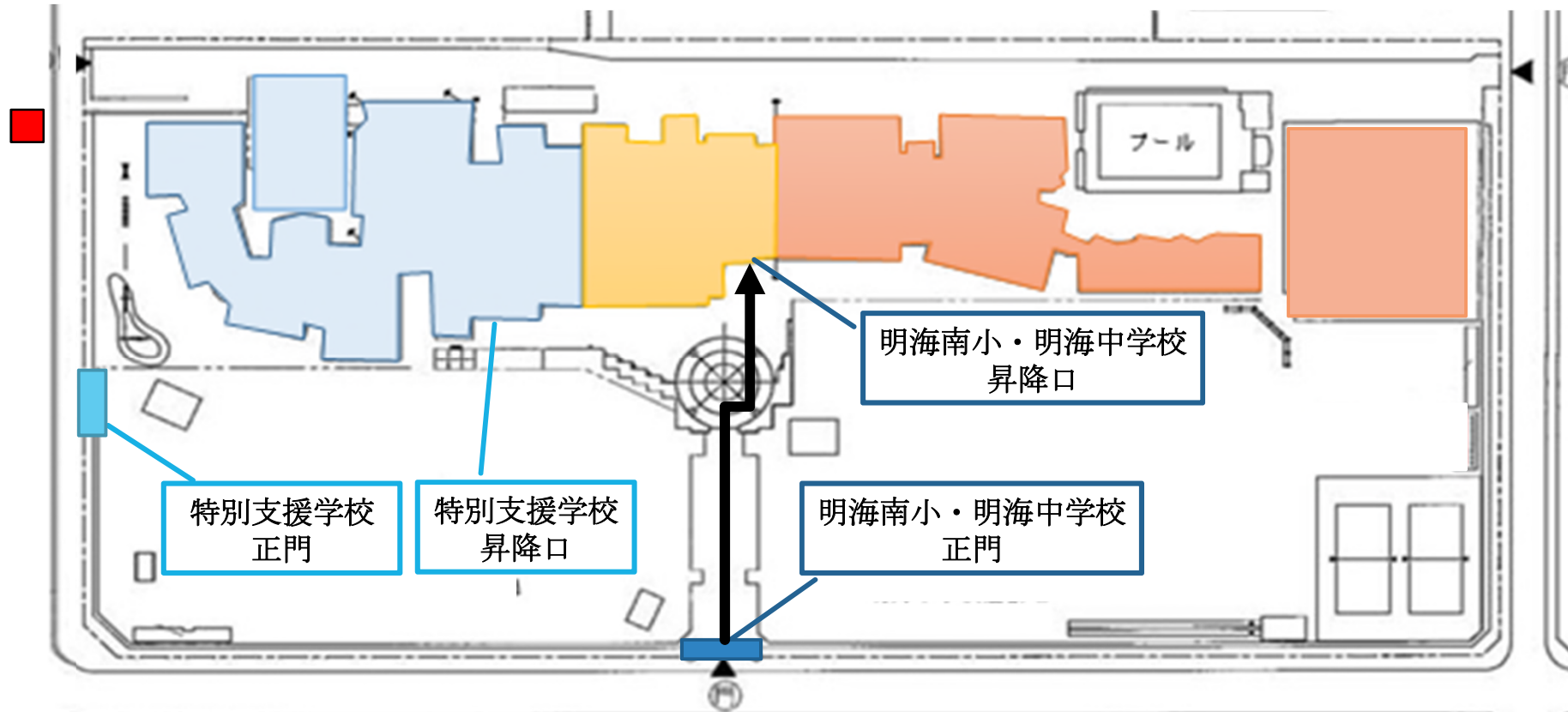
開校予定

令和9年度開校

# (仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校想定図



# (仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校想定図



## 浦安市立明海南小学校・明海中学校との併設による特別支援学校

- ・ 児童生徒同士が、共生社会の一員として、共に認め合い、支え合い、誇りを持って生きられる社会の構築の基礎を培う教育の実現
- ・ 教職員同士が連携・協働することによる、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の充実を図る教育の実現
- ・ 特別支援学校の専門性を活かした取組の実現
- ・ 地域との連携・協働の推進による地域コミュニティの拠点としての機能の充実



## 小学校と併設している特別支援学校



小学校と特別支援学校の  
授業交流



小学校と特別支援学校の  
合同集会



特別支援学校の先生が  
小学校の児童に授業



休み時間に一緒に遊ぶ姿も

## (仮称) 千葉県立葛南特別支援学校の設置について

### 開校までのスケジュール

※スケジュールについては、予定となります。

### 工事関係

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
工事関係	基本設計	実施設計	工事	工事	開校

### 特別支援学校の設置に向けて

- ・ 浦安市立明海南小学校・明海中学校の児童生徒を含む地域にとって安全、安心な教育環境の整備
- ・ 浦安市立明海南小学校・明海中学校・特別支援学校の教育課程、教育活動の充実に配慮した学校施設の運用